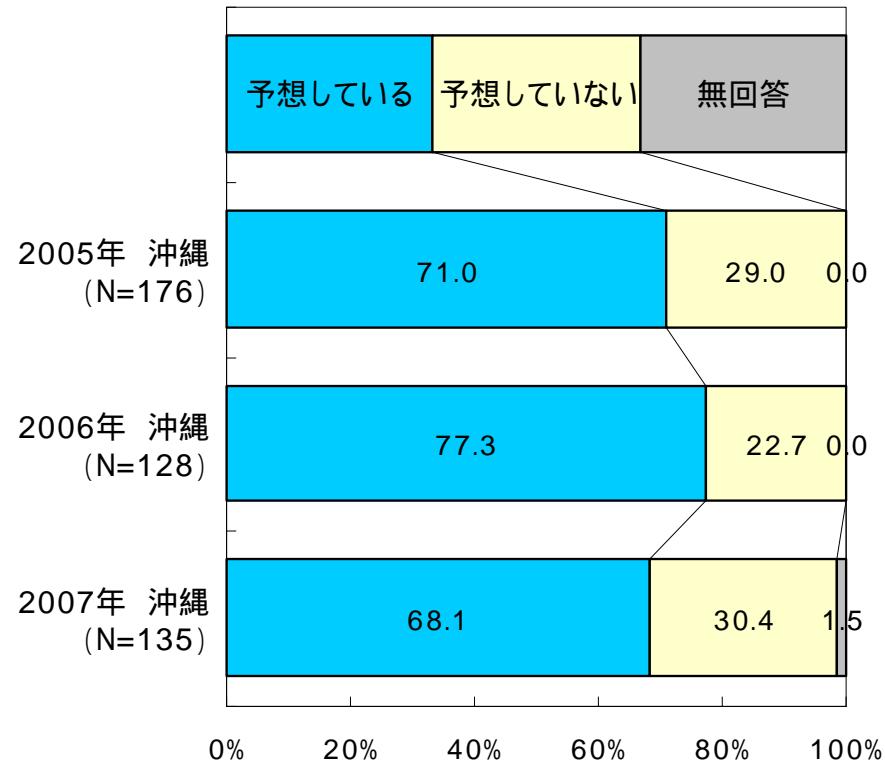
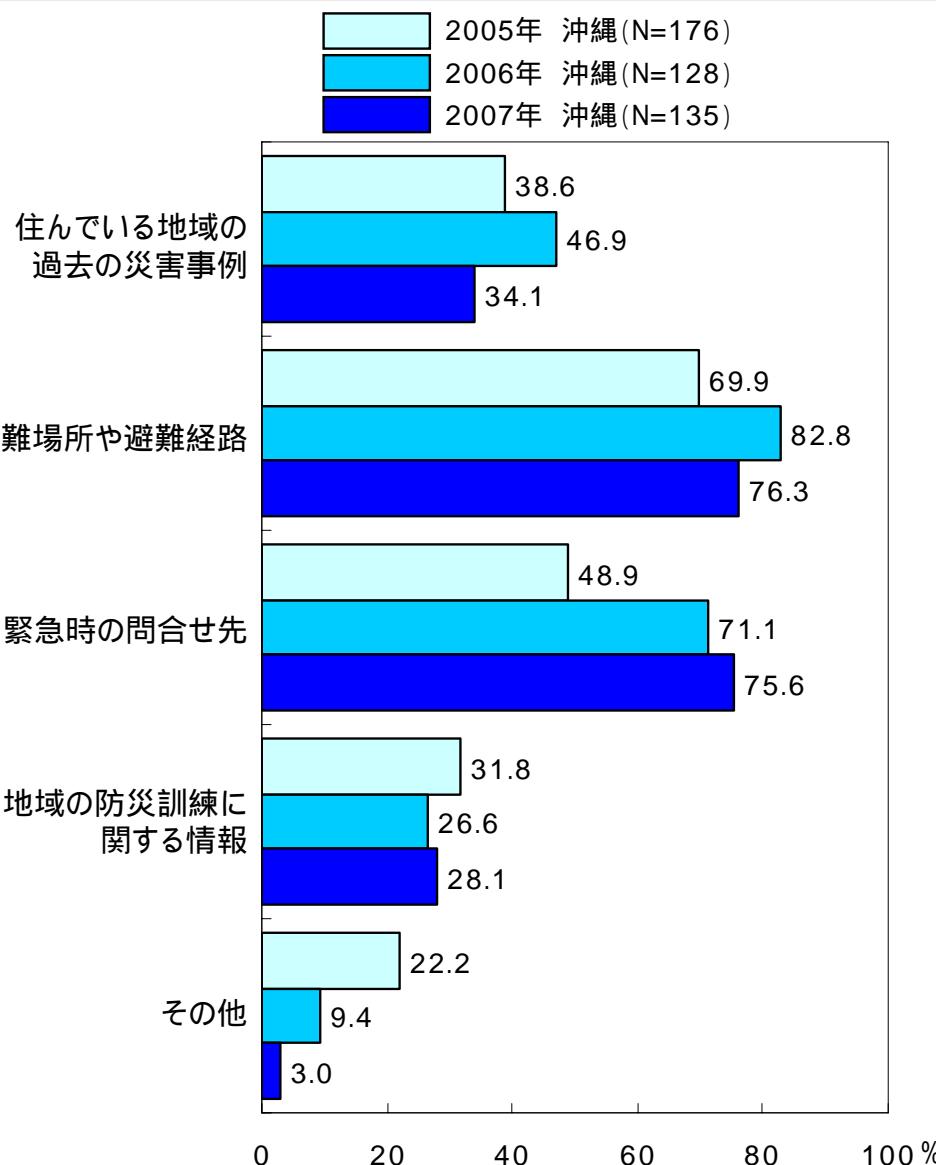


Q1. 近年、異常ともいえる規模や頻度の洪水・高潮・土砂災害が全国各地で発生しています。  
あなたの地域でも、今後このような水害が起こりうると予想していますか。



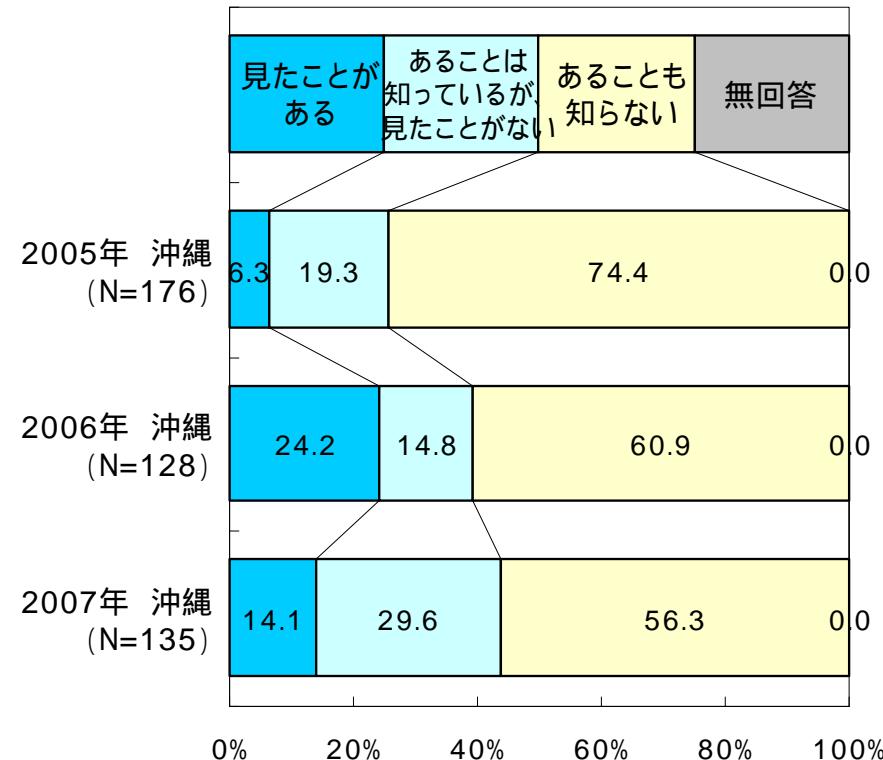
水害の「予想している」は68%。  
災害に対する危機意識は過去3年間で最も低い結果となった。

Q2. 日頃から災害に備えるために知っておきたい情報は何ですか。(複数回答 可能)



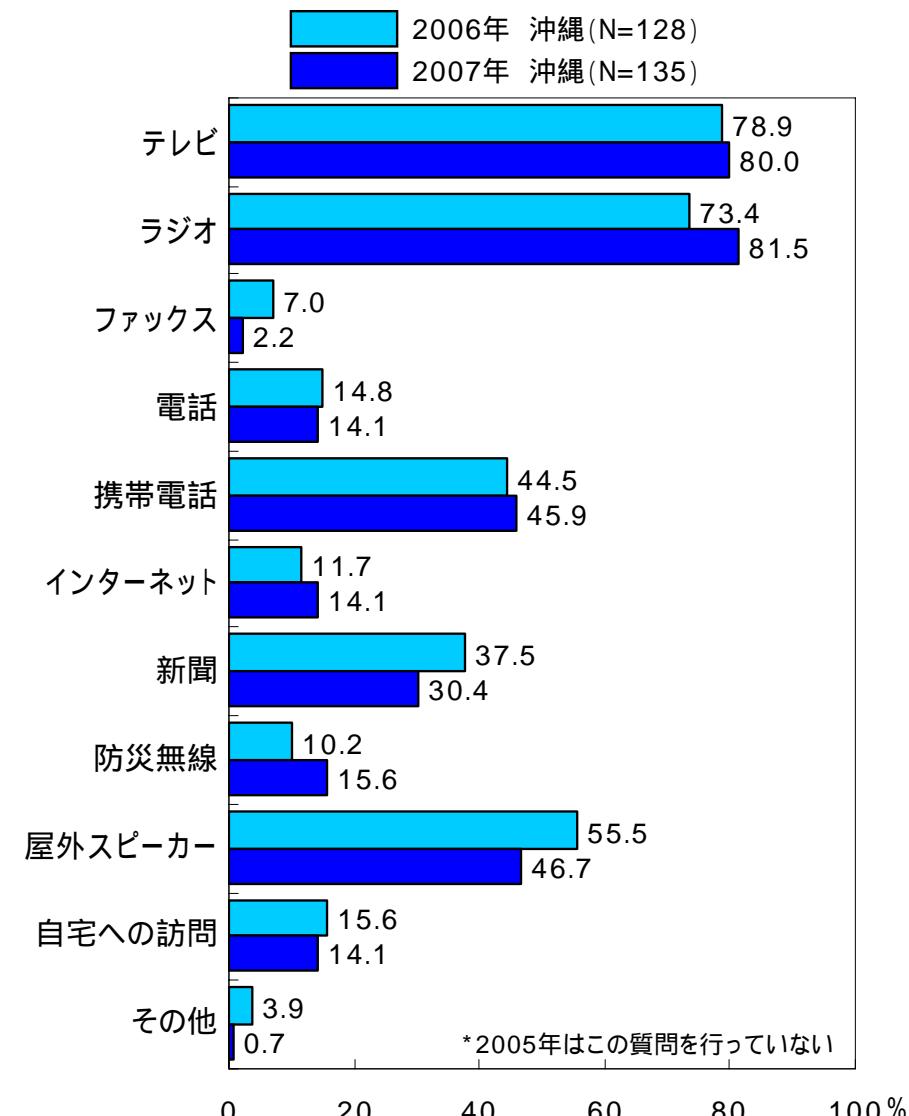
災害に備えて知っておきたい情報は「避難場所や避難経路」が最も高く、次いで「緊急時の問合せ先」が続く。  
時系列でみると、「避難場所や避難経路」に対する意識の高まりが年々増加している。

Q3. あなたは地域のハザードマップを見たことがありますか。



ハザードマップの認知は44%。  
昨年と比較すると、名称認知は向上しているが、ハザードマップ自体の認知は減少した。

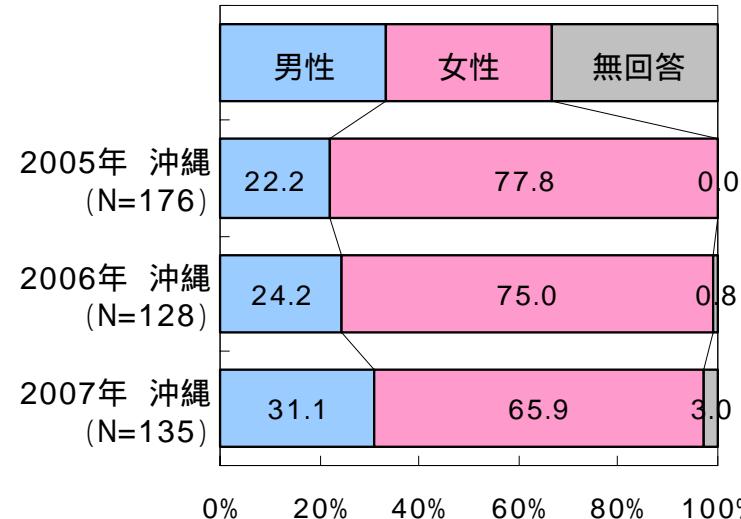
Q4. 水害が起きた時はどのような方法で情報を入手したいですか。



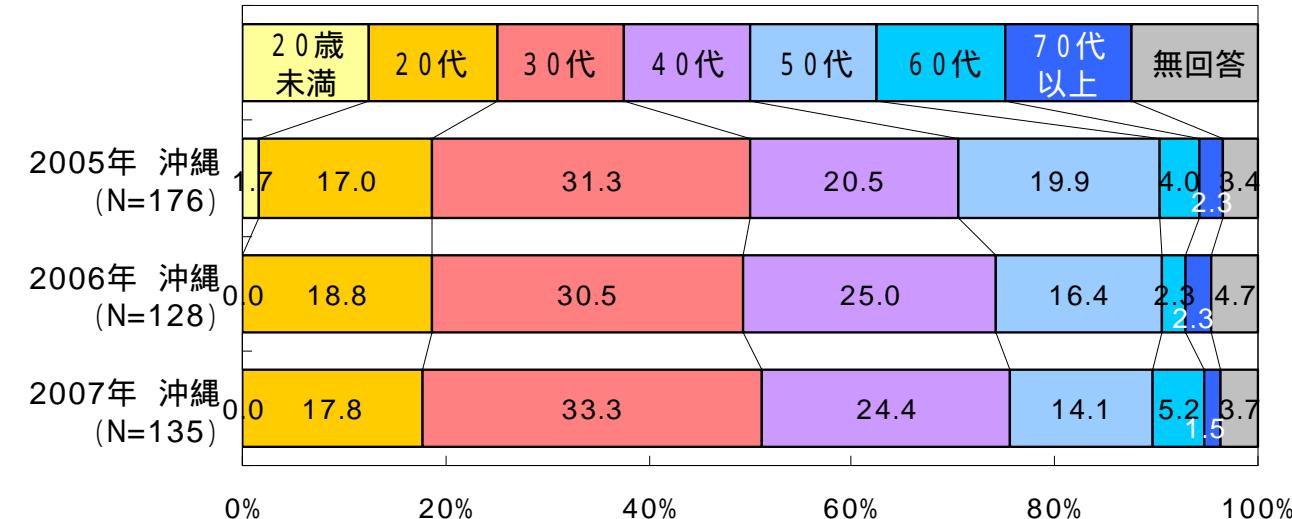
水害が起きた時の情報入手方法は「ラジオ」が最も高く、次いで「テレビ」、「屋外スピーカー」、「携帯電話」、「新聞」が続く。  
昨年と比較すると、「ラジオ」によるニーズが高まっている。



## 性別



## 年代



## 応募

